

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：高校教育指導課

担当名：産業教育・キャリア教育担当

内線：6762

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B27	高校生の「農力」育成強化プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	産業教育振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律	宣言項目	06	次代を担う人財育成		SDGsゴール	4
	分野施策			030622	質の高い学校教育の推進		SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-4	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出する。</p> <p>(1) 就農意欲促進事業 23,649千円</p> <p>(2) 地域特産品開発拠点整備事業 1,444千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 就農意欲促進事業 23,649千円</p> <p>(7) G A P実践・認証・食材提供 農業高校8校においてG A Pの実践・G A P認証の取得に取り組む。また、東京オリンピックに向けて、選手村やホストタウンと連携し、高品質な農業生産物を提供をして農業高校の魅力PRを図る</p> <p>(4) 農業教育高度化事業 今後、国内の就農者の担い手となる人材を育成するために、農業大学校と連携し、一貫性のある教育プログラムを通じた、時勢に対応した機器研修等を実施し、県内農業高校全体として就農意欲を高める教育指導により農業大学校への進学者数を経ての、将来の就農人材の輩出を目指す。</p> <p>イ 地域特産品開発拠点整備事業 1,444千円 秩父農工科学高校で、埼玉大学等と共同で特許を持つ「第3のみつ」について、実際に地域の養蜂家が使えるようにするため新たな製造技術の開発等に取り組む。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 就農意欲促進事業</p> <p>(7) G A P実践・認証取得 (R1～R3) GLOBALG. A. P 熊谷農業(野菜) 杉戸農業(果樹) S-GAP 農業高校8校 オリンピック、ホストタウンへの食材提供、地元企業等との連携による商品開発</p> <p>(4) 農業教育高度化事業 江南支所・熊谷農業にて、就農意欲を高め将来の就農者を輩出するため、農業大学校と連携の元、時勢に沿った設備機器や専門外部講師による質の高い指導により一貫した農業教育の実践を図る。</p> <p>イ 地域特産品開発拠点整備事業 「第3のみつ」の製造技術開発・地域特産品の開発販売等 (H30～R4)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 農業高校の魅力化、経営感覚・国際感覚・チャレンジ精神を兼ね備えた将来の農業の担い手となる人材の育成</p> <p>イ 農業高校による地域への貢献 (県産農産物の魅力発信・地域の特産品の開発等)</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10、(2) 国10/10 (一部国1/2))									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
			国庫支出金						
決定額	25,093	10,652					14,441	20,701	
前年額	4,392						4,392		